

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	THB106A	Practical English II A	
科目名（コード）	THB106	Practical English II A	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1年生
対象コース	HB1	単位数	2単位30
授業担当者	佐々木 敬太	時間数	
成績評価教員	長島洋介	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	日本に関するトピックスに関して議論、研究、ディベートを行い異文化理解と英語発信力を培う。
全体の内容と概要	日本人学生であれば、日本文化に関する記事を英語で理解し、日本文化を英語で説明しなければならない状況を想定し、実用的な表現を身につける。留学生であれば、自国と日本における文化的差異の理解を英語を
授業時間外の学修	各UnitのReading Sectionの語彙と内容を予習の範囲として事前把握に努める。また、同Sectionの音声を確認し、日常的にシンクロリーディングを通じたリスニング力と正確な発音を意識した学習を習慣づける。
履修上の注意事項等	-

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	日本の Subcultures の理解を深めること、自国のSubculturesとの比較を	Hot Topics JAPAN 1: Unit 7 頻出語彙、それら類義語や反意語の習得による語彙力強化、各Unitの日本の文化的特徴の理解と各国との違いを議論し、相互理解を図
2	日本の Subcultures の理解を深めること、自国のSubculturesとの比較を	Hot Topics JAPAN 1: Unit 7 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
3	日本の Juku Culture の理解を深めること、自国との比較を議論を通じて	Hot Topics JAPAN 1: Unit 8 頻出語彙、それら類義語や反意語の習得による語彙力強化、各Unitの日本の文化的特徴の理解と各国との違いを議論し、相互理解を図
4	日本の Juku Culture の理解を深めること、自国との比較を議論を通じて	Hot Topics JAPAN 1: Unit 8 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
5	Studying Abroad に対する考え方、自国との比較を議論を通じて行	Hot Topics JAPAN 1: Unit 9 頻出語彙、それら類義語や反意語の習得による語彙力強化、各Unitの日本の文化的特徴の理解と各国との違いを議論し、相互理解を図
6	Studying Abroad に対する考え方、自国との比較を議論を通じて行	Hot Topics JAPAN 1: Unit 9 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
7	Cell Phone Etiquette の考え方を自国と比較し議論を通じた発話練習を	Hot Topics JAPAN 1: Unit 10 頻出語彙、それら類義語や反意語の習得による語彙力強化、各Unitの日本の文化的特徴の理解と各国との違いを議論し、相互理解を
8	Cell Phone Etiquette の考え方を自国と比較し議論を通じた発話練習を	Hot Topics JAPAN 1: Unit 10 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
9	Vending Machines に関する自国との比較、議論を通じた発話練習を行	Hot Topics JAPAN 1: Unit 11 頻出語彙、それら類義語や反意語の習得による語彙力強化、各Unitの日本の文化的特徴の理解と各国との違いを議論し、相互理解を
10	Vending Machines に関する自国との比較、議論を通じた発話練習を行	Hot Topics JAPAN 1: Unit 11 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
11	Robotics Research に関する日本と自国の比較、議論を通じた発話練習	Hot Topics JAPAN 1: Unit 12 頻出語彙、それら類義語や反意語の習得による語彙力強化、各Unitの日本の文化的特徴の理解と各国との違いを議論し、相互理解を
12	Robotics Research に関する日本と自国の比較、議論を通じた発話練習	Hot Topics JAPAN 1: Unit 12 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
13	期末試験対策	期末試験に向けてのレビュー
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Hot Topics JAPAN 1
参考文献・資料等	
備考	※授業の進捗状況を鑑み、各回のトピックに合った記事等を追加資料として配布する可能性があります。